

ヒアリング結果の概要

観光協会等へのヒアリングの概要

実施期間

R8.5.8（金）～5.25（月）

ヒアリング項目

- ① 観光資源、観光スポット、イベントについて
- ② 売り出したい観光の資源、スポット、イベント
- ③ 有償の観光コンテンツ
- ④ 予め設定したテーマに関連する観光資源等
- ⑤ 観光に積極的な又は観光客が多く訪れている事業所
- ⑥ 外国人観光客の現状
- ⑦ 外国人観光客の誘客の意向
- ⑧ 現在の観光PRの手法、課題
- ⑨ 今後、観光で力を入れていきたいこと
- ⑩ 市への要望

結果の概要

- ✓ 13区の観光に関する取組を行う13団体（観光協会等）延べ30人とヒアリングを実施した。
- ✓ 全地域で歴史に関する貴重な資源の話題があり、特に仏教に関連する特徴的な資源が多く残されていることを確認した。
- ✓ 安塚、浦川原、大島、吉川、板倉、牧、大潟、清里、三和では、有償の観光コンテンツ等の話題で「越後田舎体験」が挙げられ、改めて当該取組と「Meet Japan in Joetsu」の取組との親和性を確認した。
- ✓ 上記以外の地域間の横断的なテーマとして、信越トレイル、サイクルツーリング、謙信公、ヨモギ文化、灯の回廊などを確認した。

ヒアリングで得られたこと

- ✓ 観光に関わる団体やその体制など、観光を取り巻く環境や、地域のキーパーソンを知ることができた。
- ✓ 地域間で共通するテーマ、特に歴史や文化、自然に関し、今後観光の取組を検討するヒントを見出すことができた。
- ✓ 次の展開として各地域の事業者等へのヒアリングを行うためのリストを作成することができた。
- ✓ お話を聞くことで、各資源の背景や実情、思いなどをお聞きすることができ、各地域・資源の理解が深まった。

<本ヒアリングにおける観光の定義>

「観光」が指す言葉の意味は広く、地域活性化の取組や別地区の上越市民が来場するイベントなど、多くの人が集まることを「観光」と呼ぶケースもある。本資料では、「観光」や「観光客」の定義について、産業としての外貨獲得の視点から、上越市“以外”に住む人が訪れる旅行及び訪問客のここと整理して作成することとしているので留意いただきたい。

共通テーマ（担当者の所感の基づくもの）①

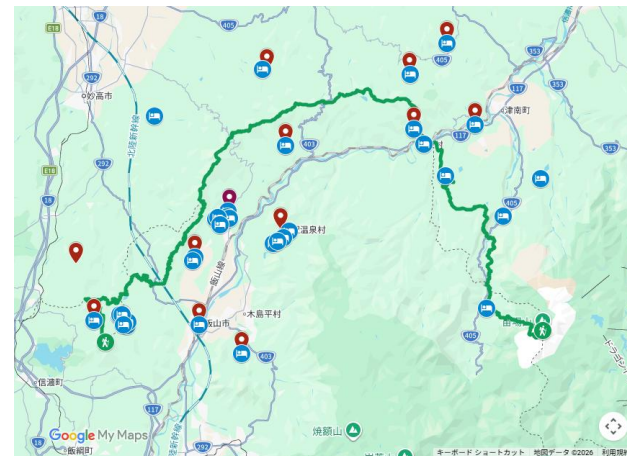
各地域の団体の皆様からのお話をお聞きして気づいた共通テーマ

信越トレイル

<特に関連する地域（安塚、大島、牧、板倉、清里）>

- ✓ 新潟県と長野県の県境に位置する標高1000m前後の「関田山脈」の稜線を主体とした、斑尾山から苗場山頂に到る約110Kmの日本屈指のロングトレイル
- ✓ 年間約1万人※の利用（コロナ禍前は2万）があり飯山市側が盛ん。加盟宿は全体38件の内、当市は2件。コースの20%（約25km）が当市と隣接している。ロングトレイルの文化は元々海外から入ってきていることを踏まえると、グリーンシーズンのインバウンド需要を視野に経済効果を含めて改めてあり方を検証していくことも有効と考えられる。

※NPO決算書より



ブナ林

<特に関連する地域（安塚、大島、板倉、清里、牧、吉川、名立）>

- ✓ 先の信越トレイルとも関連するが、豪雪地域の特徴であるブナ林が美しいという声が複数あがった。
- ✓ 単に、ブナ林だけではすぐに観光資源として活用することは難しいが、後述する写真のテーマとの関連や時間をかけて知名度を上げて観光スポット化することなどの可能性が考えられる。

サイクルツーリズム

<特に関連する地域（大潟、板倉、名立）>

- ✓ 大潟区のキャンプ場では、自転車で遠方から来る利用者がたびたびおり、久比岐自転車道は評価が高いとのこと。
- ✓ また、板倉区では光ヶ原高原を駆け抜ける自転車イベントが毎年開催されているほか、名立～直江津、春日山間でレンタサイクルの体験が商品化されている。
- ✓ 二次交通が十分ではなく、資源が点在する当市においては自転車を観光にいかしていくことも有効と考えられる。



共通テーマ（担当者の所感の基づくもの）②

各地域の団体の皆様からのお話をお聞きして気づいた共通テーマ

謙信公

<特に関連する地域（市内全域）>

- ✓ 各地の観光資源の中では、支城やゆかりの地など謙信公に関連する資源が多く点在している。
- ✓ 令和12年に謙信公の生誕500年を控える中で各地域間が連携して謙信公をテーマに周遊を考えることが有効と考えられる。

親鸞聖人

<特に関連する地域（安塚、柿崎、吉川、板倉など）>

- ✓ 各地域のお話からは親鸞聖人や浄土真宗に関するゆかりの声が複数あがった。
- ✓ 国府別院や居多神社、浄興寺はもとより、柿崎の浄善寺、浄福寺、板倉の恵信尼や吉川の尾神岳など関連するスポットが複数確認された。こうしたゆかりのスポットを巡るツアーなどの可能性が考えられる。

仏教・密教系など

<特に関連する地域（市内全域）>

- ✓ 親鸞聖人以外にも、当市は越後国の国府が置かれていた歴史から各地に仏教に関連する文化財やゆかりの地が存在している。
- ✓ 浦川原区の法定寺跡や岩殿山の重要文化財「大日如来像」、柿崎区の米山薬師と密蔵院、板倉区の山寺薬師や人柱供養堂など、浄土真宗以外の真言宗や天台宗などの密教系が普及していた時代などはまだまだ未解明のことも多く、ある種ミステリーのような魅力が感じられる。

バイク・ツーリング

<特に関連する地域（三和、柿崎など）>

- ✓ 風巻神社は、近年全国的な知名度が高まり、各地から当地を目指してライダーが訪れている。
- ✓ 市内には、同様に全国的な知名度を持つラーメン店があるほか、近年、谷浜や柿崎ではライダー歓迎を発信する飲食店が生まれている。
- ✓ 二次交通が十分ではなく、資源が点在する当市では、既に目的地となるスポットを持つバイクを観光にいかしていくことは有効な手段と考えられる。

共通テーマ（担当者の所感の基づくもの）③

各地域の団体の皆様からのお話をお聞きして気づいた共通テーマ

ヨモギ文化

<特に関連する地域（市内全域）>

- ✓ 名立区には、ヨモギから作るお灸の原料「もぐさ」の全国シェア70%を持つ企業があり、うみてらす名立ではヨモギをいかしたイベント等が生まれている。
- ✓ 出陣餅や笹団子、お茶など市内にはヨモギをいかした事業者が複数あり、上越地域は全国有数のヨモギの産地であることが企業のホームページでも謳われている。
- ✓ このほか、市民の文化としてヨモギ摘みや食として根付いた歴史があり、J A えちご上越ではこうした文化をいかした事業を行っている。地域の歴史・文化を観光にいかしていく観点からもヨモギの活用も有効と考えられる。

越後田舎体験

<特に関連する地域（安塚、浦川原、大島、大潟、吉川、板倉、牧、清里、三和）>

- ✓ 関連する地域では必ず話に挙がっていた田舎ならではの体験を売りとした旅行商品。ヒアリング結果としては最も地域の特色をいかしつつ経済効果を得られている仕組みと考えられる。
- ✓ 教育旅行の減少や、受け入れ先の高齢化などの課題があるものの、「Meet Japan in Joetsu」の趣旨を踏まえると、最も親和性のある事業であり、社会変化やニーズを捉え、内容を見直しながら取り組んでいくことが有効と考えられる。

灯の回廊

<関連する地域（安塚、大島、浦川原、牧、三和、名立など）>

- ✓ 関連する地域では、雪に関するトピックとして必ず話に挙がっていた取組
- ✓ 越後田舎体験とエリアが重複するところも多く、灯の回廊では準備に人手が必要となることから、越後田舎体験と連動した個人向け旅行商品の造成などを検討していくことも有効と考えられる。

写真

<関連する地域（市内全域）>

- ✓ 野鳥やブナ林、棚田、夕日など各地で写真愛好家が市外・県外から訪れているという声が複数あった。
- ✓ 直ちに観光商品に結びつけることは難しいが、今後の参考として留意していきたい。